

ドローンを活用した災害物資輸送に関する調査等事業

実施主体：国土交通省
採択額：0.7億円
対象事業：連携事業

事業目的

- ドローンを活用した災害時の緊急支援物資輸送について、地域における社会受容性の確保や災害協定の締結につなげるため、地方公共団体、物流事業者、NPO等の関係機関が連携したドローン物資輸送訓練の実施を支援し、地域性を考慮した緊急支援物資輸送体制の確保を図ります。

事業概要

- 能登半島地震の災害対応では、輪島市・能登町で道路が遮断され車両による物資輸送が困難な状況となりましたが、ドローンを活用して孤立集落まで迅速に支援物資を配送。

＜輪島市における被災状況と孤立集落までのドローンルート＞

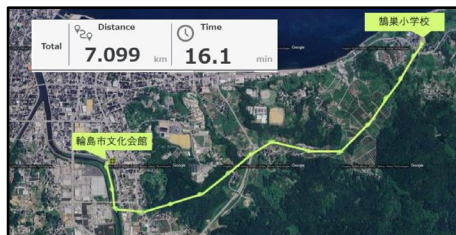


・孤立集落の避難所まで徒歩5～6時間
⇒ドローンなら16分程度で配送可能

・1月8日～14日で計11回（輪島市・能登町）の飛行
配送総重量：21.69kg
飛行総距離：61.93km
飛行総時間：140.8分間
配 送 物 資：医薬品など

・陸路が遮断されたり有人機の離着陸が困難でも、ドローンなら比較的重量が小さい物資の配送に適しています

（出所）第3回デジタルライフライン全国総整備実現会議石川県馳知事提出資料等を基に作成。



- 災害時にドローンを活用した緊急支援物資輸送を円滑・迅速に行うためには、平時から、ドローン配送に関する社会受容性の確保や災害協定の締結を進めておくことが必要。

＜事業スキーム＞

国土交通省

補助1/2

民間事業者 等

実施イメージ

- 地方公共団体、物流事業者、NPO等の関係機関が連携したドローン物資輸送訓練の実施を支援し、被災時の役割分担やオペレーション等の明確化につなげます。

連携先：内閣府（防災担当）、地方公共団体 等を想定

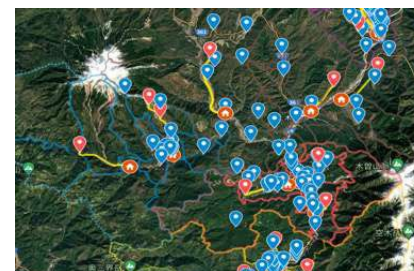
誰が荷物を
受け取るか

荷卸し場所は
どこか

災害対策本部
との連携



【避難所におけるドローンの荷受け体制の構築】



【孤立想定集落・避難所のリスト化】



【ドローン飛行ルートの事前構築】

- 各地域の訓練から得られた知見等については、災害フェーズや地域特性等に応じたドローンの活用方針の検討に反映。